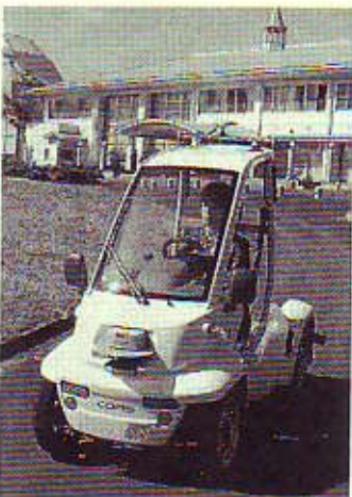


## 電気自動車 自動運転 GPS使い 実証実験

栗原で慶大が公開



情報システムと交通移動手段を組み合わせた「コ・モビリティ」と呼ばれる次世代の社会づくりに取り組んでいる慶應大学は12日、栗原市鷺沢の細倉マインプラザで、全地球測位システム(GPS)を利用した自動運転の電気自動車の実証実験を公開した。写真。実験には市民モニターらも参加。車に乗ってハンドルなし

操作しなくとも目的地に移動できることを確認しても、移動させた。また無人の車の荷台に野菜などを積み、「無人販売車」として指定した場所に停車させる実験も行った。

試乗した同市一迫の高橋奈津子さん(27)は、「想像していたよりスムーズに走って乗り心地もよかつた。自分で運転しないので乗った充実感はない

いかも」と苦笑い。同大環境情報学部の小川克彦教授は「研究は順調に進んでいる。電波の受信の安定性に課題があるが、将来的には街中での走行実験をしたい」と話していた。

無断転載を禁じます。

本記事は朝日新聞社の著作物であり、許可を得て掲載しています。